



神奈川県



令和6年度

障害者雇用促進センター事業概要



令和6年7月

目 次

1	設置目的及び沿革	1
2	組織及び分掌事務	1
3	施 設	2
4	令和6年度 事業計画	2
	(1) 当初予算の概要	2
	(2) 事業計画	3
5	令和5年度 事業実績	4
6	令和5年度 事業実施状況	5
	(1) 電話等相談の状況	5
	(2) 企業支援事業	7
	(3) 職業能力評価	9
	(4) 企業・障がい者就労支援機関等に対する研修事業	11
	(5) 障害者雇用普及啓発事業	13
	[資 料]	
	職業能力評価の検査内容	14

1 設置目的及び沿革

【設置目的】

障がい者雇用に関する企業支援及び就労支援機関支援を行い、障がい者雇用の促進を図ります。

【沿革】

昭和47年10月23日

神奈川県行政組織規則により、職業適性の判定、職業及び労務管理に関する指導及び相談等を行う労働相談センター[管理課、能力開発課、労働情報サービス課、婦人職業相談室、高年者職業相談室]が、横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2(県政総合センター内)に設置されました。

昭和55年8月1日

同規則の一部改正により、障がい者、婦人及び高年者の職業に関する指導及び相談を行う職業相談センター[管理課、障害者職業相談室、婦人職業相談室、高年者職業相談室]が同所に設置されました。

平成7年10月1日

同規則の一部改正により、職業相談センターが組織改編され、障がい者の職業的自立への支援機能を充実強化するため、障害者就労相談センター[企画調整課、就労援助課]として、横浜市中区寿町1-4(かながわ労働プラザ内)に設置されました。

なお、職業相談センターに設置されていた女性職業相談室及び高年者職業相談室は、横浜労働センターに移管されました。

平成18年4月1日

同規則の一部改正により、就労援助課は就労支援課となりました。

平成29年4月1日

同規則の一部改正により、障がい者雇用に関する企業支援及び就労支援機関支援を実施する、障害者雇用促進センター[管理企画課、雇用促進課]となりました。

2 組織及び分掌事務

【組織・分掌事務】

(令和6年4月1日現在)

区分	職員数	分 掌 事 務
所 長	1	
次 長	1	1 所長の補佐及び事務代理に関すること 2 所内事務の統括に関すること
管理企画課	3 [3]	1 人事、服務、予算、決算及び庶務に関すること 2 企業及び就労支援機関向け研修に関すること 3 障がい者雇用促進に係る企業訪問の事務処理に関すること 4 統計資料の作成に関すること 5 ポータルサイトの運営に関すること
雇用促進課	22 (16)	1 障がい者雇用促進に係る企業訪問事業に関すること 2 障がい者雇用促進に係る雇用準備支援事業に関すること 3 企業及び就労支援機関向け出前講座の企画・実施に関すること 4 社会保険労務士相談支援事業に関すること 5 就労支援機関の依頼による職業能力評価に関すること
合 計	27 (16) [3]	

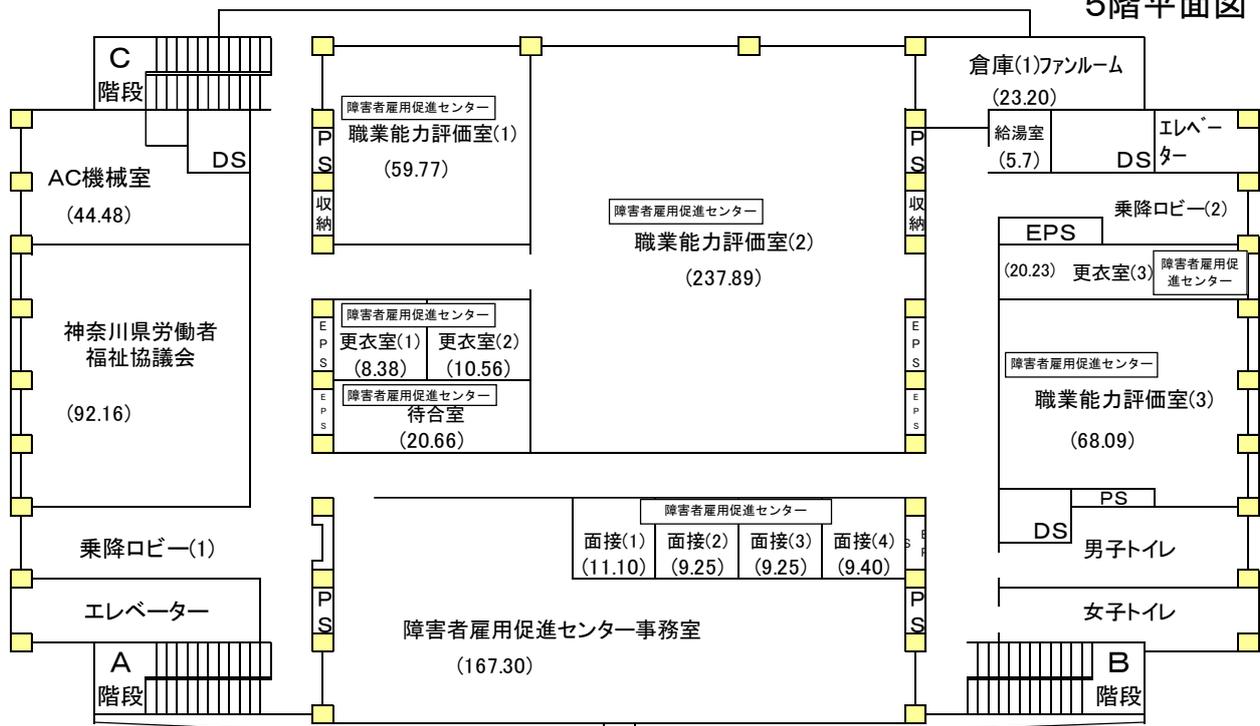
()内の数字は内数で会計年度任用職員を、[]内の数字は外数で兼務職員を表す。

3 施 設 (かながわ労働プラザ 5階)

名 称	面 積(m ²)	名 称	面 積(m ²)
職業能力評価室(1)	59.77	面 接 室 (4)	9.40
職業能力評価室(2)	237.89	待 合 室	20.66
職業能力評価室(3)	68.09	事 務 室	167.30
面 接 室 (1)	11.10	更 衣 室 (1)	8.38
面 接 室 (2)	9.25	更 衣 室 (2)	10.56
面 接 室 (3)	9.25	更 衣 室 (3)	20.23

計 631.88 m²

5階平面図



4 令和6年度 事業計画

(1) 当初予算の概要

(単位：千円)

	令和6年度	令和5年度	比較増減	備 考
障害者雇用促進事業費	5,879	5,879	0	
障害者雇用開拓・体験実習支援事業費	780	0	780	
雇用労政課運営費	801	801	0	
合 計	7,460	6,680	780	

(2)事業計画

事業名	事業計画
企業支援事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 企業訪問による普及啓発、情報収集 神奈川労働局及びハローワークと連携して、障害者法定雇用率未達成の企業への訪問及び障がい者雇用実績のある企業への訪問を実施する。 2 雇用準備支援 企業の訪問等により、企業が障がい者雇用の準備を進めるために必要な支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援機関見学 障がい者雇用を検討している企業の従業員が地域の就労移行支援事業所等を訪問することによって障がい者の理解を深める。 ・就労支援機関による企業見学 就労支援機関の支援員が障がい者雇用を検討している企業を訪問し、現場視察及び想定する雇用条件等の説明を聞き取り、意見交換をすることによって、相互の理解を深める。 ・先駆的取り組み企業の見学 障がい者雇用を検討している企業の従業員が、障がい者雇用を実践している企業を訪問して障がい者雇用の実際を視察する。 3 出前講座 障がい者に対する理解促進や、雇用した障がい者の職場定着を向上させるため、企業の経営者や従業員に対して講座を実施する。 4 社会保険労務士相談支援 社会保険労務士を派遣して、企業が障がい者雇用を円滑に進めるための助言を行う。
障害者雇用開拓・体験実習支援事業	<p>県内民間企業の障がい者の雇用の推進、雇用率等の向上のため、障がい者の雇用について体験実習を行うことで一歩が踏み出せない企業(事業所)を後押しする。</p> <p>併せて、本事業への協力を通じて障がいのある求職希望者に雇用を前提としない体験実習の場を提供する。</p>
障害者就労支援 機関支援事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 職業能力評価 就労支援機関からの依頼により、神奈川県版ワークサンプル作業検査、ワークサンプル幕張版、厚生労働省編一般職業適性検査(GATB)、職業レディネス・テストなどの職業能力評価を実施し、必要に応じて就労支援機関からの依頼により、就労支援の参考にするため、臨床心理士による心理検査(性格検査等)を実施する。 2 出前講座 支援技術の向上を図るため、就労支援機関のスタッフに対して講座を実施する。
研修会開催事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 障がい者就労支援機関及び企業に対する就労支援研修会を実施する。 2 障がい者就労支援機関に対する医療連携研修会を実施する。
障害者雇用 普及啓発事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 障がい者の雇用事例等を掲載した啓発リーフレット「ともに歩む」を発行する。 2 障がい者雇用を進めるための総合ポータルサイトを運営する。

5 令和5年度 事業実績

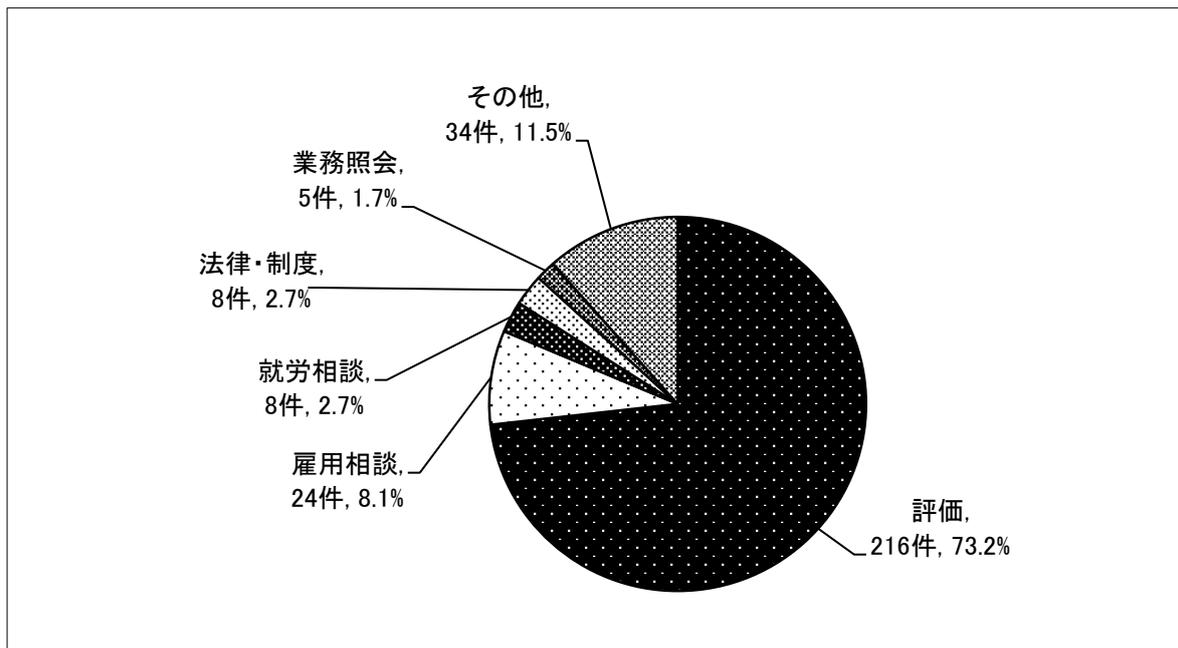
事業名	事業実績
電話等相談	電話等相談件数 295 件
企業支援事業	1 訪問企業数 (1) 普及啓発、情報収集 872 社(この他、雇用率達成企業1社) (2) 雇用準備支援等 425 回 2 就労支援機関見学 訪問企業数 12 社 受入機関数 24 所 3 就労支援機関による企業見学 受入企業数 20 社 訪問機関数 116 所 4 出前講座件数 41 件
障害者就労支援 機関支援事業	1 職業能力評価受付者数 120 人 2 出前講座件数 1 件
研修会開催事業	障がい者就労支援機関向け研修会(医療連携研修会) 実施方法 動画配信 実施回数 1 回 申込者数 支援機関 127 人 医療機関 12 人 計 139 人 障がい者就労支援力向上研修会 実施方法 動画配信、集合研修 実施回数 動画配信プログラム5コマ、集合研修3回 申込者数(延べ人数) 支援機関 337 人 企業 60 人 計 397 人
障害者雇用 普及啓発事業	1 啓発誌「ともに歩む」の発行 令和5年12月 11,500 部 2 障がい者雇用を進めるための総合ポータルサイトの運営。

6 令和5年度 事業実施状況

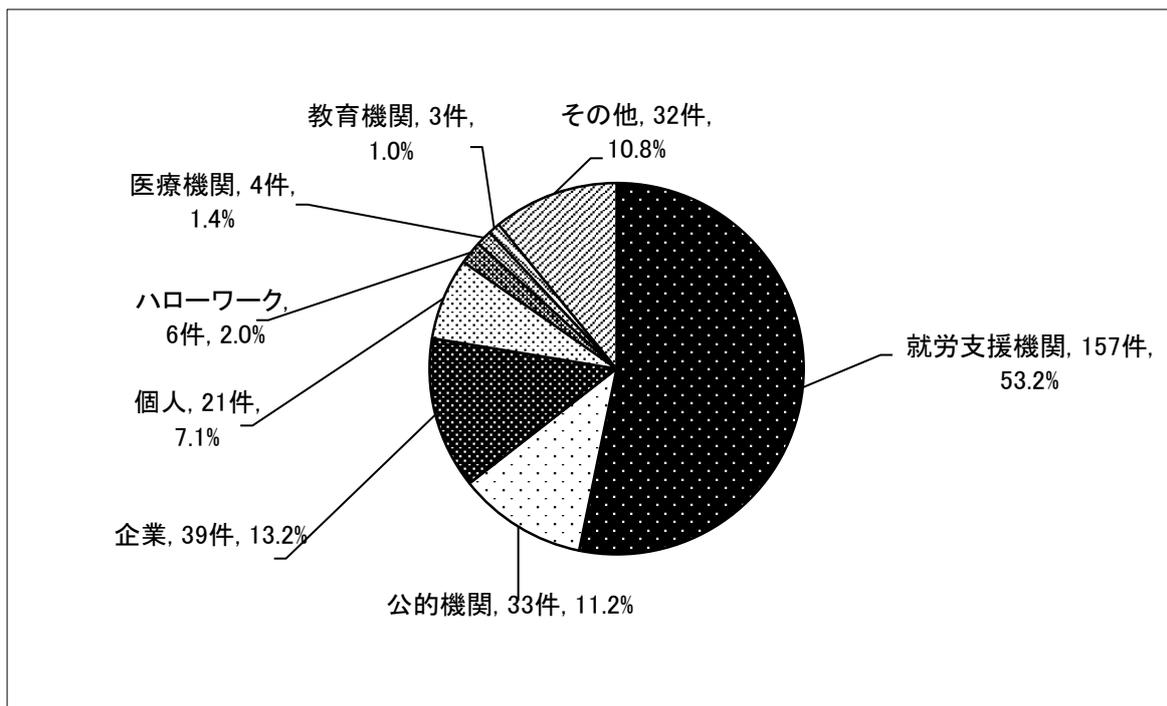
(1) 電話等相談の状況

電話等による相談件数は、295件ありました。
相談内容では、「評価」に関する相談が最も多く、「その他」を除いては、「雇用相談」、「就労相談」、「法律・制度」と続いています。「評価」の相談216件のうち120件が実際に「職業能力評価」の実施依頼を受けています。

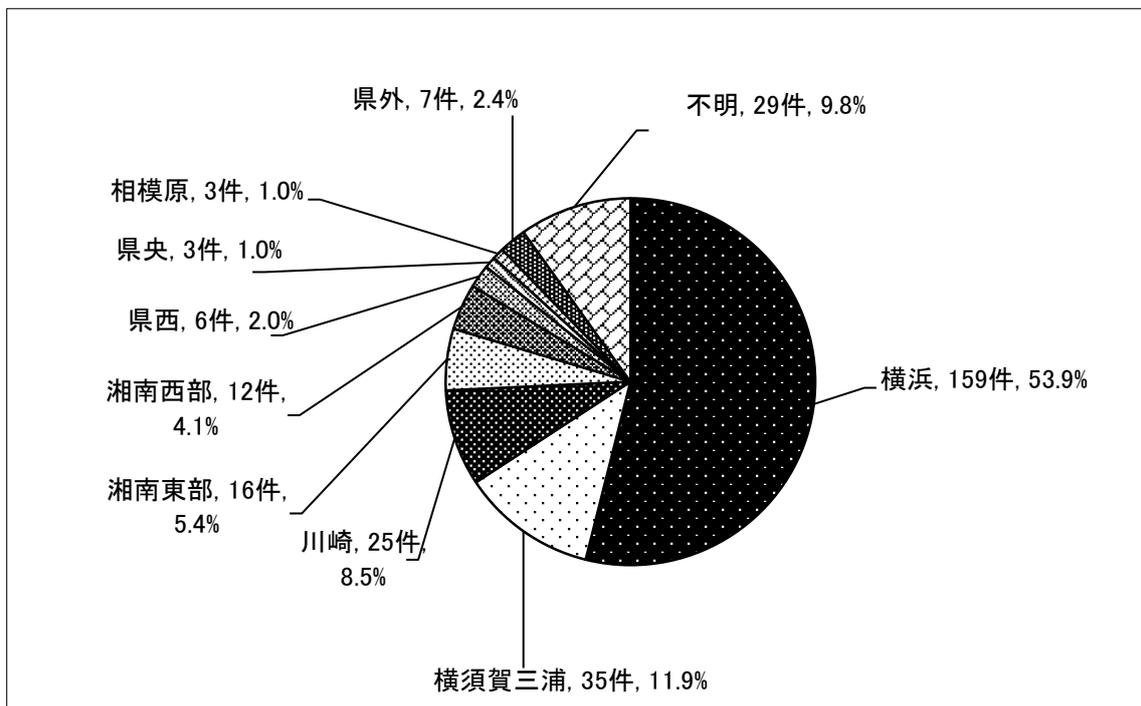
図表1 相談内容



図表2 相談者の所属



図表3 相談者の地域



※各地域における市町村の内訳(障害保健福祉圏域)

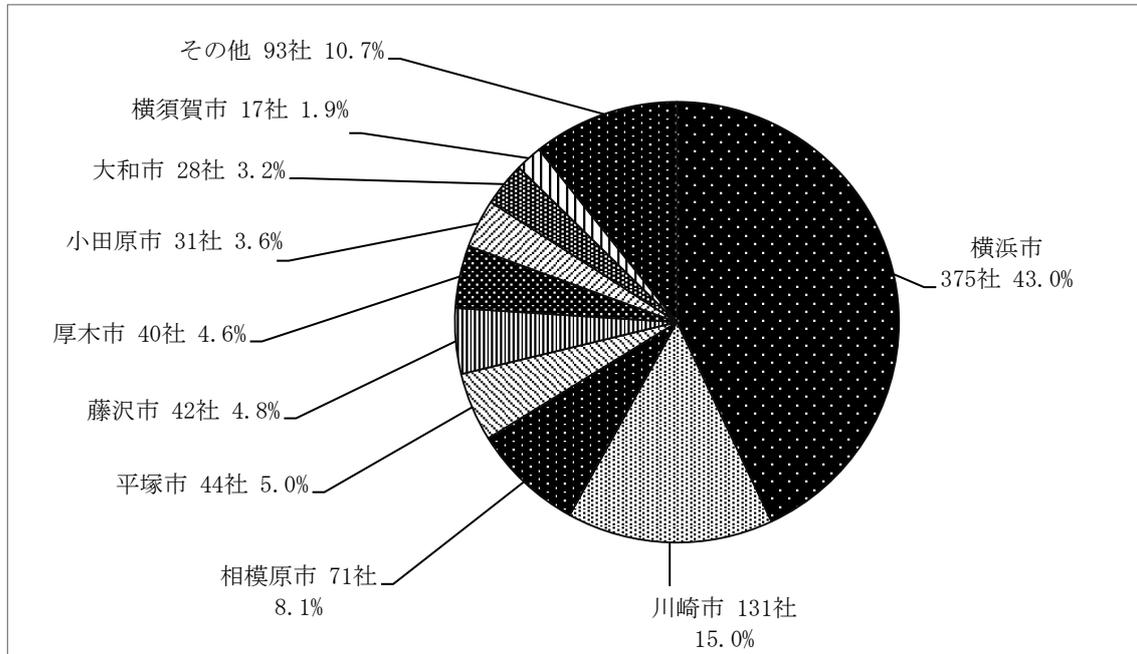
圏域	市町村
横浜	横浜市
川崎	川崎市
相模原	相模原市
横須賀・三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町
湘南東部	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町
湘南西部	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
県央	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町

(2) 企業支援事業

ア 企業訪問による普及啓発、情報収集

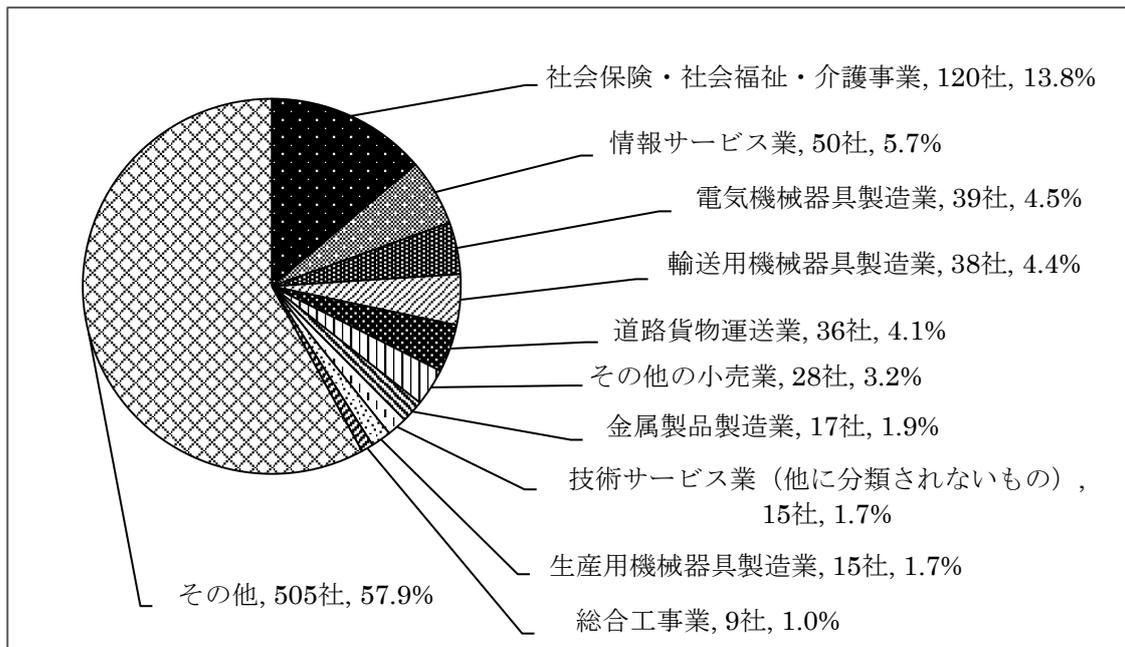
6名の雇用普及啓発員(事務)が神奈川労働局およびハローワークと連携して、神奈川県内に所在する障害者法定雇用率未達成の企業 872 社(この他、雇用率達成企業1社)を訪問しました。

図表4-1 訪問状況(市町村別)



市町村別で見ると、横浜市が 375 社、43.0%で最も多く、次いで川崎市、相模原市の順となっています。

図表4-2 訪問状況(業種別:中分類)

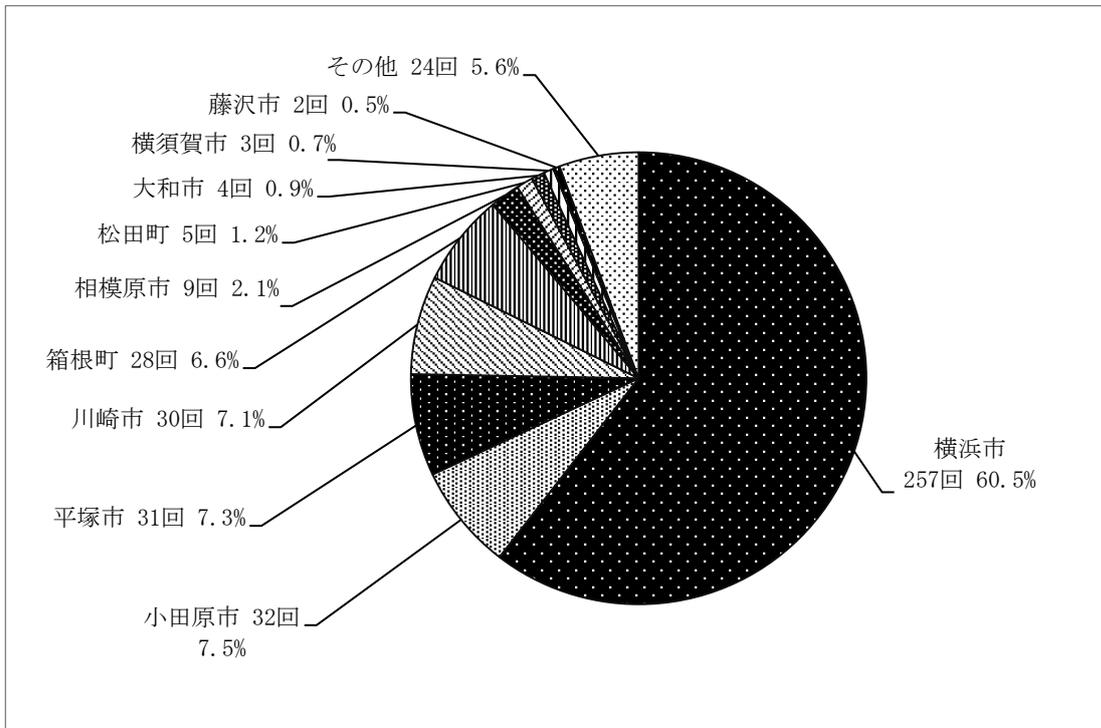


業種別で見ると、「社会保険・社会福祉・介護事業」が 120 社、13.8%で最も多く、次いで「情報サービス業」、「電気機械器具製造業」の順となっています。

イ 企業訪問による雇用準備支援等

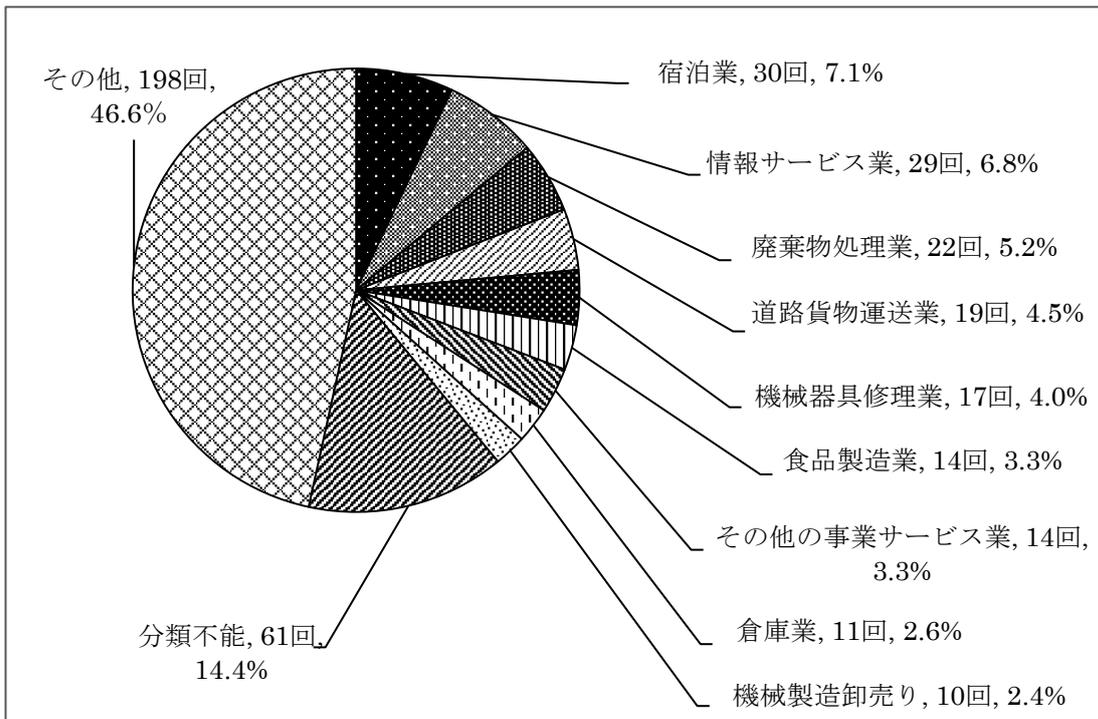
6名の雇用普及啓発員(福祉)が企業が障がい者雇用準備を進めるために必要な就労支援機関見学、出前講座、社会保険労務士相談などの支援のため、企業を425回訪問しました。

図表5-1 訪問状況(市町村別)



市町村別で見ると、横浜市が257回、60.5%で最も多く、次いで小田原市、平塚市の順となっています。

図表5-2 訪問状況(業種別:中分類)



業種別で見ると、「宿泊業」が30回、7.1%で最も多く、次いで「情報サービス業」、「廃棄物処理業」、「道路貨物運送業」の順となっています。

(3) 職業能力評価

就労支援機関等からの依頼に基づき、120人の職業能力評価を受け付けました。ワークサンプル作業検査、厚生労働省編一般職業適性検査(GATB)、職業レディネス・テスト、心理検査等を個々の状況に応じて選択実施し、評価結果を支援機関及び利用者の方にお伝えし、その後の支援に活用していただきました。

- 令和2年度より、感染防止対策を強化しながら実施することとしています。(ただし、感染リスクを考慮し、神奈川版ワークサンプル作業検査のうち、集団検査は当面見合わせることにし、他の検査については、評価室・待合室の換気・消毒の徹底、職員・利用者の検温や手指の消毒、マスク着用等を行いながら実施。)

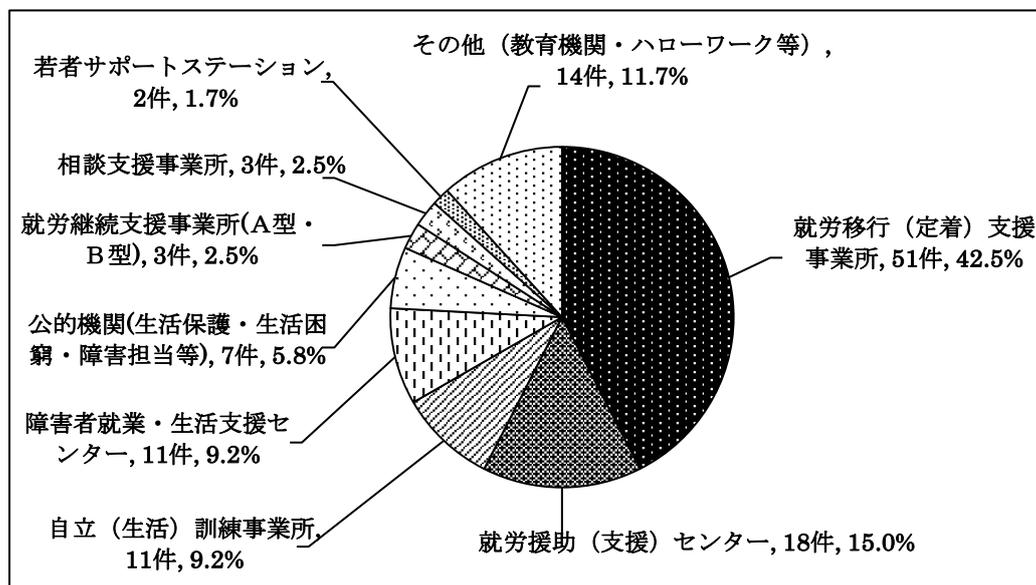
図表6 職業能力評価実施件数(区分別)

区分	検査内容	件数	
神奈川版 ワークサンプ ル 作業検査	個別	仕分け、箱詰め、袋詰め、組立、清掃等の作業課題を設定し、作業速度、作業精度を測定、理解力、積極性、集中力、持続性、計画性等を観察し、作業遂行能力を評価する。	94件
	集団	小集団で行う部品の分解、組立作業を通じ、場面への適応、他者との協調性、コミュニケーション、他者への配慮等の様子を見る。	※
ワークサンプル幕張版	0A作業の検査により能力を測定する。	89件	
	事務作業の検査により能力を測定する。	88件	
厚生労働省編一般 職業適性検査(GATB)	就労するうえで必要な9項目の適性能力を測定し、適性に合った職業領域をみる。	94件	
職業レディネス・テスト	6種の職業領域に対する興味・関心の強さと個人の心理的傾向から適職を検討する。	91件	
心理検査	就労支援に必要な個人の特性や課題を把握する。	10件	

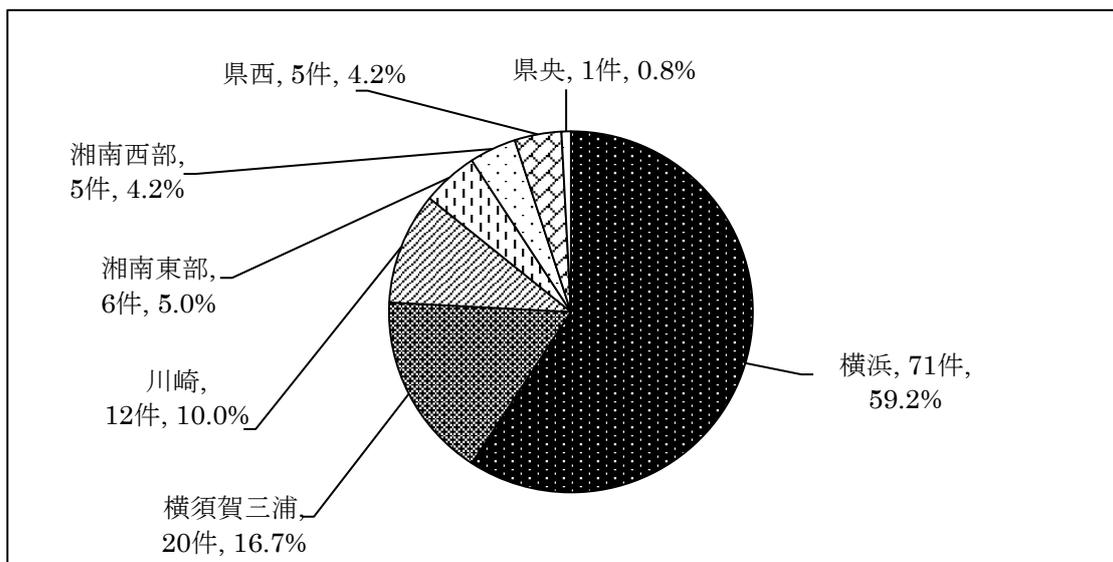
(延べ 466件)

※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じるため、集団ワークサンプルは中止とした。

図表7 実施状況(依頼機関別)

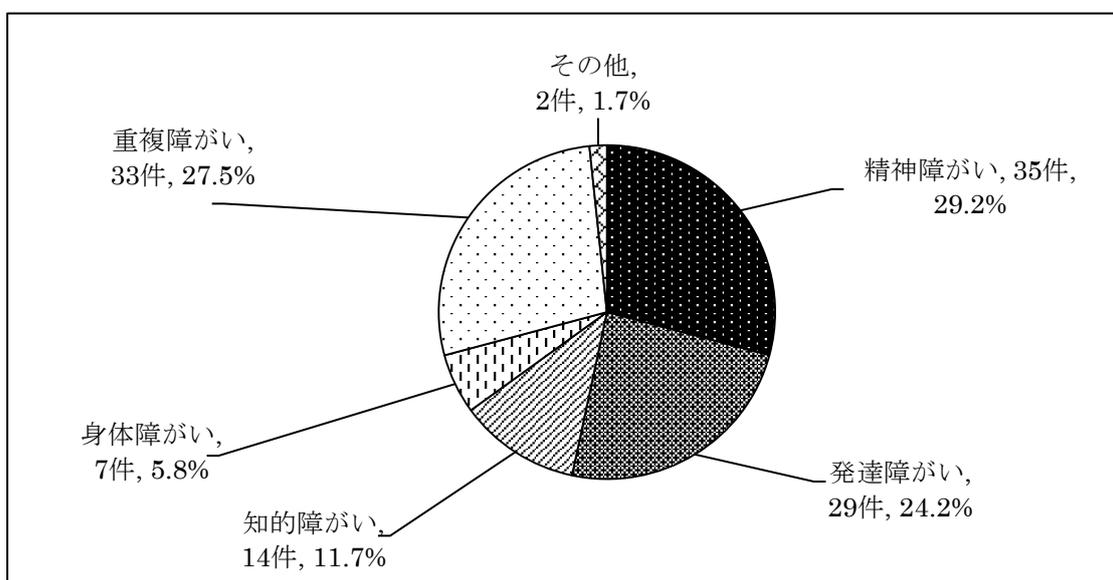


図表8 実施状況(依頼機関の地域別)



※各地域における市町村の内訳は図表3のとおり

図表9 実施状況(障がい別)



(4) 企業・障がい者就労支援機関等に対する研修事業

精神障がい者の求職申込件数や就職件数は年々増加しており、安定して働き続けることを支援するためには、精神科医療機関と情報共有や連携を図ることが重要になります。

そこで、就労支援機関と精神科医療機関の連携をテーマとした研修を開催しました。

(オンデマンド配信)

No.	動画配信期間	申込者数	テーマ・講師
1	令和6年1月5日(金) ～1月25日(木)	139人 支援機関 127人 医療機関 12人	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「精神科医療機関との情報共有・連携のために」 <li style="padding-left: 20px;">I-1 連携の前に踏まえるべきこと(1) ～企業に求められる雇用管理の基本～ <li style="padding-left: 20px;">I-2 連携の前に踏まえるべきこと(2) ～就労支援におけるアセスメントの基本的視点～ <li style="padding-left: 20px;">II-1 情報共有・連携の課題と基本的視点 <li style="padding-left: 20px;">II-2 情報共有・連携の進め方 講師: 全国障害者雇用事業所協会 障害者雇用相談員 相澤 欽一 氏

障がい者就労支援力向上研修会

就労支援機関及び企業(集合研修第3回)の方を対象に、就労支援に関する講義を通じ、支援に必要な知識習得のほか、日々直面する課題への対策などを考える研修会を行いました。

・主催: 神奈川県・共催: 神奈川労働局

(オンデマンド配信)

No.	動画配信期間	申込者数	テーマ・講師
1	令和5年8月21日(月) ～10月31日(火)	133人 支援機関 133人 延べ視聴 回数 1,190回	<ul style="list-style-type: none"> ・講義①「はじめての支援機関①～出会いからナチュラルサポートまでの道のり～」 講師: 就労サポートセンターねくすと所長 八木 苑子 氏 ・講義②「はじめての支援機関②～支援員に大事な心構え～」 講師: 障がい者就業・生活支援センターサンシティ センター長 山崎 健太郎 氏 ・講義③「社会人スキルアップ」 講師: 湘南障害者就業・生活支援センター長 小川 菜江子 氏 ・講義④「障がい者雇用の現状と障がい者雇用施策」 講師: 神奈川労働局職業安定部職業対策課 地方障害者雇用担当官 隈園 裕子 氏 ・講義⑤「労働関係法規」 講師: かながわ労働センター川崎支所 宇津井 篤 主幹

(集合研修)

No.	日時・場所	参加者数	テーマ・講師
1	令和5年8月31日(木)	60人 支援機関 60人	<ul style="list-style-type: none"> ・講義①「就労支援における生活支援」 講師:障害者就業・生活支援センターぽむ所長 大箭 忠司 氏 ・講義②「アセスメント力を高める！」 講師:神奈川障害者職業センター所長 小田 訓 氏
2	令和5年9月5日(火)	76人 支援機関 76人	<ul style="list-style-type: none"> ・講義①「企業支援で支援員にもとめられるスキル」 講師:神奈川県障害者雇用促進センター 佐久間 剛 雇用促進課長 ・講義②「企業支援プロセス」 講師:障害者支援センターぽけっと所長 恩蔵 幸一 氏 ・講義③「職場定着に必要な視点」 講師:埼玉県産業労働部雇用労働課副課長 埼玉県障害者雇用総合サポートセンター駐在 高橋 洋一 氏
3	令和5年9月6日(水)	128人 支援機関 68人 企業 60人	<ul style="list-style-type: none"> ・講義①「短期間雇用を知ろう！」 講師:企業応援センターかわさき所長 荒木 伸義 氏 ・講義②「障がい者雇用で知っておきたい労務管理」 講師:伊藤社会保険労務士事務所 社会保険労務士 伊藤 和彦 氏 ・講義③「支援機関と企業の連携例」 講師:川崎障害者就業・生活支援センター 古郡 将行 氏 株式会社北野書店 馬瀬 錠治 氏 ・講義④「座談会～もっと知りたい連携例～」 講師:川崎障害者就業・生活支援センター 古郡 将行 氏 株式会社北野書店 馬瀬 錠治 氏 <p>コーディネーター:企業応援センターかわさき所長 荒木 伸義 氏</p>

(5) 障害者雇用普及啓発事業

企業等への障がい者雇用の普及啓発を図るため、次の事業を実施しました。

ア 障がい者雇用啓発誌「ともに歩む」(第41集)の作成

(ア) 発行部数 11,500部 令和5年12月発行

(イ) 主な内容

- ・障がい者雇用に取り組んでいる企業の事例紹介
- ・業種別で見る障がい者が従事した業務例
- ・障がい者雇用に取り組む事業主への支援制度
- ・県内の障がい者雇用を支援する機関

(ウ) 配布先

- ・障害者雇用普及啓発員、県雇用労政課などを通じて主に民間企業に配布しました。
- ※ポータルサイトへ掲載しています。

イ 障がい者雇用を進めるためのポータルサイトの運営

企業等が障がい者を雇用するに当たってのさまざまな情報について、一元的にかつわかりやすく提供するため、ポータルサイトを運営し、随時更新を行いました。

(ア) 主な内容

- ・障がい者雇用の事例紹介
- ・3つのステップで進める！<はじめての障がい者雇用>
- ・障がい者雇用 Q&A(企業の方のご質問にお答えします！)
- ・障がい者雇用の流れ
- ・県内の障がい者雇用を支援する機関
- ・見学・実習の案内
- ・社内理解を深めるポイント
- ・仕事の創出のヒント
- ・採用面接時のポイント
- ・支援メニュー(出前講座、社労士相談等)の紹介
- ・講座・研修の案内

(イ) 特徴

- ・令和4年度に、障がい者雇用 Q&A(企業の方のご質問にお答えします！)のページをリニューアルし、障がい者雇用普及啓発員が企業訪問した際に企業から寄せられた質問と回答を掲載しています。
- ・「はじめて障がい者雇用を検討される企業の方向け」、「障がい者雇用経験がある企業の方向け」、「就労支援機関の方向け」に分けて情報発信しています。
- ・「はじめて障がい者雇用を検討される企業の方向け」のページでは、特に基本的な知識を知ることができるよう、「基本情報を知る」、「雇用の準備～採用する」、「雇用を継続する」の3つのステップに分けて情報を掲載しています。

【資 料】

職業能力評価の検査内容

1 ワークサンプル作業検査 (神奈川県版)

作業能力		検査名	内 容
1	単純に並べる、置く、貼る作業	中ラベルの貼付	中ラベルを台紙の指定された枠内に貼りつける。
		同種の引っ掛け	同一形状のプラスチック片をハンガーのフックに引っ掛ける。
		同種の取り外し	同一形状のプラスチック片をハンガーのフックから取り外す。
2	揃え、分類して並べる、置く、貼る(巧緻、精密)作業	段ボール箱の組立	広げられた状態の段ボール箱を組み立て、底をガムテープで貼る。
		小ラベルの貼付	小ラベルを台紙の指定された枠内に貼りつける。
		多種の引っ掛け	プラスチック片、木片を触れ合わないよう、ハンガーのフックに引っ掛ける。
		加速コンベアへの部品並べ	ベルトコンベア上の間隔が次第に狭くなるマーカールにあわせて、部品を置いていく。
		変速コンベアへの部品並べ	ベルトコンベア上の不規則な間隔のマーカールにあわせて、部品を置いていく。
3	簡単な袋詰め、箱詰め、箱組立作業	紙箱組立と卵模型詰め	紙箱をたたまれた状態から組み立て、卵型模型を詰め、蓋を閉じる。
		紙箱組立と球模型詰め	紙箱を展開された状態から組み立て、仕切り板を組み合わせ、球形模型を詰める。
		ブロック2種の箱詰め	クラフト紙製の箱に、積み木を見本どおりに並べて詰める。
		ナスの袋詰め	ナス模型をビニール袋に入れ、シーラーで口を閉じる。
		ミカンの袋詰め	ミカン模型をビニール袋に入れ、シーラーで口を閉じ、袋の余った部分を切り落とす。
4	やや複雑な袋詰め、箱詰め、箱組立、紐かけ作業	ブロック多種の箱詰め	クラフト紙製の箱に、積み木を見本どおりに並べて詰める。
		リネンたたみ	タオルを指定の方法でたたみ、積み重ねる。
		リネン紐かけ	指定の長さに紐を切り、タオルの束を紐かけする。
		軍手紐かけ	軍手をそろえて重ね、指定の長さに紐を切り、束ねる。

作業能力		検査名	内容
5	道具使用による組立、加工作業	パターン組立	プラスチックプレートをボルト・ナットを使用して、手順書どおりに組み立てる。
6	物品の移動、運搬作業	牛乳ビンの運搬	牛乳ビン箱を指定の位置に運び、中のビンを別の箱に詰め替え、整頓して並べる。
7	簡単な計数、仕分け、分類作業	ビニールタイの5本ずつの仕分け	ビニールタイを数え、5本ずつに仕分ける。
		ビニールタイの20本ずつの仕分け	ビニールタイを数え、20本ずつに仕分ける。
		ビニールタイの同数5分割	ビニールタイを数え、5分割して仕分ける。
		カラーカード分類	6色のカラーカードを対応する箱に選別して入れる。
		リネン仕分け	ランダムに混ぜ合わされた5種類のタオルを仕分ける。
8	3桁計数、コードによる仕分け、分類、照合、補充作業	ビニールタイの100本ずつの仕分け	ビニールタイを数え、100本ずつに仕分ける。
		3桁コードによる仕分け	数字(コード)を記した袋の中の品物を、対応する番号の引き出しに入れる。
		かなと3桁コードによる仕分け	かなと数字(コード)を記した袋の中の品物を、対応する番号の引き出しに入れる。
		伝票による品出し	引き出しから、伝票に記載されたコードの品物を指定数取り出して、皿に入れる。
		伝票による品補充	引き出しセットに、伝票に記載された品物を補充する。
9	計量作業	カップ目盛りによる計量	計量容器の所定の目印まで、ペットボトル内の粒状物を注ぐ。
		はかりによる直接計量	はかりの上の計量容器に、所定の重量になるまでペットボトル内の粒状物を注ぐ。
		はかりによる間接計量	計量容器に、所定の重量になるまでペットボトル内の粒状物を注ぐ。(粒状物を注ぐときは、はかりを使用しない)
10	清掃などの軽作業	穴あけ	ハンドプレス機を操作し、正方形の四隅に穴をあける。
		掃除機による清掃	所定場所に散在する木片チップを掃除機で吸い取る。
		窓拭き	窓ガラスのスプレー泡を雑巾で拭き取る。
11	共同作業	ボルト・ナットによる組立、分解作業	組立、分解作業を共同で行う。

(幕張版)

作業能力	検査名	内容
OA作業	数値入力	画面に表示された数値を、表計算ワークシートに入力する。
	文書入力	画面に表示された文章を、枠内に入力する。
	コピー&ペースト	画面に表示されたコピー元をコピー先の指定箇所にペーストする。
	検索修正	指示された内容にそって、データを検索し、修正する。
	ファイル整理	画面に表示されたファイルを、該当するフォルダに分類する。

2 職業適性検査

検査名	内容
厚生労働省編一般職業適性検査 (GATB)	11種の紙筆検査と4種の器具検査により、能力と適性職業領域をみる。

3 職業興味検査

検査名	内容
職業レディネス・テスト	6種の職業領域への興味と自信等をプロフィールでみる。

4 その他の検査

性格・行動等の特性をみる心理検査、幕張版・事務作業(数値チェック、物品請求書作成等)

障害者雇用促進センターは、障がい者雇用に関する企業支援及び就労支援機関支援を実施する県の機関です。

主な事業は次のとおりです。

○企業支援

出前講座の開催

障がい者雇用に関する疑問
障がい者雇用の手続きや助成金
障がい者への理解を深めたい など
企業のニーズに応える講座を開催します。



社会保険労務士による出張相談

障がい者雇用に関する雇用契約の形態や労務管理などについて、県内の経験豊富な社会保険労務士が御相談に応じます。



○就労支援機関支援

職業能力評価

支援機関からの依頼により、神奈川県版ワークサンプル作業検査、ワークサンプル幕張版、厚生労働省編一般職業適性検査（GATB）などの評価ツールを選択し、職業能力評価を行います。



ともに歩むナビ
(当センターの
ポータルサイト)

出前講座の開催

企業とのスムーズな連携方法
職業能力評価の活用 など
就労支援機関のニーズに応える講座を開催します。

企業向け、就労支援機関向けの各種研修等の開催

障がい者雇用促進の各種研修を開催します。
詳細は当センターのポータルサイトで随時御案内します。